

6/4 朝日

「敵基地攻撃」と「反撃能力」

首相「同じこと指す」

岸田文雄首相は3日の参院予算委員会で「敵基地攻撃能力」と自民党が提言した「反撃能力」の違いについて「同じこと」を指して使つてゐる」と述べた。自民

提言では反撃能力による攻撃対象を「指揮統制機能等も含む」と広げており、立憲民主党の福山哲郎氏は「同じではない。反撃能力の方が範囲が広い」と反撃

日本を攻撃しようとする外団のミサイル基地などをただく「敵基地攻撃能力」を自民党は「反撃能力」に言い換え、提言した。首相

が先月の日米首脳会談で公の場で初めて反撃能力という言葉を使ったため、福山氏は「敵基地攻撃能力を反撃能力に政府は言い方を変えたのか」と質問した。

首相は同趣旨で使っていようと説明し、「どちらも『いわゆる』という言葉をつかた上で使わせていただいている」と説明。「いわゆる」を付言すれば同意味などの考え方を示した。一方で「同じか違うかも含めて、選択肢として排除せずにしつかり議論したい」とはぐらかした。（小木雄太）